

恐ろしい農薬事故!

病害虫の発生とともに農薬の事故が多くなります。完全な装備で散布し農業保存は子どもの手の届かないところに置きましょう

八郷云報

NO. 143 1967. 6. 15

発行所 八郷町役場
茨城県新治郡八郷町
電話(柿岡)4番
発行責任者 岩本佳之
印刷所 飯島印刷所

町の人口	14,121人
男	14,589人
女	28,710人
世帯数	5,674戸
(6月1日現在)	

農業選挙、七月中旬に

定数21名から16名に減る

農業委員会委員の一般選挙が七月中旬に行なわれる予定です。

農業委員の任期が、今年の七月十九日で満了となるため一般選挙を任期満了前の三十日以内に行なうことになり、七月中旬(日時の決定は選挙管理委員会で決める)には選挙が行なわれ、新しい委員が選挙による委員は、町の条例で定められていますが、昨年すでにご承知のとおりで、農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図るために農地などの利用関係のあつせ

日照り田600haが水不足に悩む

急ぎ対策本部を設置、指導を指示

五月にはいってからの晴天続きで、田も畠も干ばつを受けたが、とにかくひどいのは水田で、植付けた田は地割れし、植付不能や枯死寸前の稻が続出した。

とくに、町内では園部、瓦会、芦穂地区の一部がひどく、農家のうち人は急速に深井戸を堀ったり、揚水機を購入するなど、約二千万円をかけて水不足の解消につとめたが、水田二、一〇〇ヘクタールが深刻な水不足になった。

六月九日現在、町が調査した結果によると、枯死寸前九五ヘクタール、用水不足四二三・四ヘクタール、植付不能一〇六・四ヘクタールをかけて水不足の解消につとめたが、水田二、一〇〇ヘクタールが深刻な水不足になった。



被害をうけた永沼のたばこ
被災をうけた永沼のたばこ
被災をうけた永沼のたばこ

補正予算など 4議案を可決

監査委員に小河原氏

第2回臨時議会

第二回臨時議会が五月二十九日開かれ、専決事件の報告と四つの議案が上程され、全議案が原案どおり可決されました。この議会で決議された。この議会では、新しい監査委員が選任されました。小河原慶四郎氏が選任されました。

小河原氏はこれまでに、教育委員、固定資産評価審査委員、町議会議員などを歴任しました。職業は農業。

監査委員の選任

議案第二八号▽

監査委員原田盈徳氏の任期満了にともない、その後任と

これら農業についての重要な

なことがらを審議する委員は

例で定められていますが、昨

年の定数条例の改正で、二二

歳で、年令が満二〇才以上の

者であれば、だれでも選挙権

を有し、立候補をすることが

できることになっています。

は次のとおりです。

百三十九万三千円にのぼる補

正予算などが可決されたが、

可決された議案のおもなもの

は、金、繰越金、諸収入、町債

歳出します。

一般会計補正予算

▽議案第三〇号▽

議案が上程され、全議

案が原案どおり可決さ

れた。この議会で決議さ

れた

年金民

七月末で資格される

将来、老令年金支給されない

社会保障の一つである国民年金に加入しないでも、あるいは保険料を納めないでも、年金がもらえると思っているかたがあるようですが、加入しないと将来老令年金さえもらえません。

これまで、広報やパンフレットなどで加入を呼びかけてきましたが、現在三五才以上でいまだに加入していない人は、年金を受けるためには二十五年以上の保険料を納めなければなりません。しかし、国民年金のできた昭和三十六年当時三才以上五〇才未満であった人は、特例でこの二五年

間をそれぞれの年金に応じて一年づつ短縮されています。

四月一日までに生れた人で、すでに加入していない人は、すなわち、認められた資格期間をみたすえにおいて、で、いよいよ加入の手続きを残りの期間だけ保険料を納めとり受給資格を確保して、将来働きなくなつたときに一人

がもらえるようになります。しかしながら、老令年金(六十五才から)がもらえるようになると加入ができなくなります。この五年間のゆとりがなくなりました。

そこで、いよいよ加入して保険料も納めていない人は、四四年四月二日から昭和七年

第三回八郷町建物共済推進協議会通常総会は、五月二十日役場議員控室で開かれ、事業報告書及び収支決算書と

本年度の事業計画及び予算などについて審議され原案どおり可決した。

また、当日は昭和四十一年度の建物共済推進員のうち、額賀利雄(林)とくに推進成績のよかつた次の八名が表彰され、表彰状と記念品が渡された。

なお、昭和四十一年度における事業成績は一、九二六件で、金額は七億五千七百十万元にたつしています。

『建物共済』七億五千万円に

総会の席上、推進員を表彰

六日役場議員控室で開かれ、事業報告書及び収支決算書と

本年度の目標額は八億五千

万円となっており昨年の実績と本年の目標額は下表のとおりです。

延長28m、幅員3m、工費451千円

▶道路復旧(小屋地内)

延長21m、幅員4.5m、工費212千円

▶道路復旧(宇治会地内)

延長27.5m、幅員4.5m、工費465千円

▶道路復旧(須金地内)

延長67m、工費948千円

▶道路復旧(弓弦地内) 

延長12m、幅員2.7m、工費462千円



「有明の松」に碑

中戸の保存会が建立

村田、浅野さんらの特殊寄付者をはじめみんなの手によって建立となったもの。

碑は、難台山の花崗岩を使用したもので、高さ約二尺、幅一・五尺もあり、碑文は、山本吉吉氏によつて「有明の松」とあざやかに書かれ、老

松の真下に建てられた。

除幕式には、保存会員をは

は、以前に映画館で使用し

ていた椅子を「公民館にあ

げましょ」といって申し

出くれたものです。

椅子は、まだ立派に使われるもので、公民館では

さっそく大会議室にそな

え、あらゆる会議に使用し

ており、非常に感謝していま

す。

碑は、難台山の花崗岩を使

用したもので、高さ約二尺、幅一・五尺もあり、碑文は、山本吉吉氏によつて「有明の松」とあざやかに書かれ、老

松」をはじめみんなの手によつて建立されたもの。

碑は、難台山の花崗岩を使

